事務事業評価シート(平成26年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード		事務事		担	当課	担当係名				所属長(課長等)名				担当係長名		当係長名			
71111		行政評価システム推進事業					₹	まちづくり政策課			行財政改革係				山田 勝己			赤羽 裕治	
							-	次評価	西年月日	平成 27 年 6			6	月	12	田	連絡	先〔内	線)
				会計区分					算コード	事業名(歳出予算見積書)									
事 務	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)		V	一般			特別		0207	企画事務									
事業				一般			特別			#N/A	‡N/A								
事務事業実施	第五次総合計画前期基本計画の			章			:選択)		7章	効果的	効果的・効率的な行財政運営のまちづくり								
の 根				節			"選択)		1節	地方分	地方分権時代に対応した計画的な行財政運営の推進								
拠 •	施策体系	施策体系における位置づけ			()	(コード選択)			1項	計画的な行政運営の推進									
位 置 づ			目〔主な施策〕 (コード選			"選択)	択) 1目			計画的な行政運営の推進									
づけ	関連する記	十画等への位置づけ	V	図 第五次行財政改革人			直大綱	岡 □ 3ヶ年実施		計画 口 主要業		業務報	<mark>辞告</mark> □		その	他			
	事務期間		(開	(開始) 23 年度		~	~ (終了予定)		27 年度 □			開始時期不明				糸	冬期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために)・・・・・この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

- •町職員
- ・第五次総合計画で示した施策(事務事業)
- •町民

②目的(意図)(どんな状態にしたいか)・・・・・この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

- ・PDCAのマネジメントサイクルを確立し、成果思考の行政経営を進める
- ・住民への説明責任を果たす
- ・職員の意識改革を促す
- ・総合計画の進行管理を行う

③手段(事業内容)(どうやって)・・・・・上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

- 事務事業評価・補助金事業評価の実施
- 2 行政評価システム委員会・施策評価研究専門部会による行政評価についての検討
- 事務事業評価・補助金事業評価の実施結果の公表
- |評価結果の予算編成への反映|

(3) 活動指標の設定と推移・・・・・(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。〔Do1〕

		□ /\	単位	実終	責値	計画	画値	最終目標年度			
		区 分	単位	25年度	26年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)		
1	指標名	事務事業評価シートの作成	項目	188	179	192	0.93	192			
1	説明	各課で作成した事務事業評価数	算出方法・計算式・目標 値設定の考え方等	評価対象と	した事務事第	美数					
<u> </u>	指標名	補助金事業評価シートの作成	項目	41 39 42 0.93				42			
2	説明	各課で作成した補助金事業評価数	算出方法・計算式・目標 値設定の考え方等	評価対象と	した補助金事	事業数					

(4) 成果指標の設定と推移・・・・・(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	実統	責値	計画	面值	最終目標年度					
		区分	単位	25年度	26年度	27年度 (見込み)	達成率	年度 (見込み					
1	指標名	事務事業評価結果公表事業数	項目	188 179 192 0				192					
	説明	町ホームページに評価結果を公表した事業数	算出方法・計算式・目標 値設定の考え方等	評価結果の	公表事業数								
2	指標名	補助金事業評価結果公表事業数	項目	41 39 42 0.93			42						
	説明	町ホームページに評価結果を公表した事業数	算出方法・計算式・目標 値設定の考え方等	評価結果の	公表事業数								

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3] ※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 □ 按分計算による算定 平成24年度
決 算平成25年度
決 算平成26年度
決 算平成27年度
見込み

																		<i>7</i> \ 3 F	70 31	//\ }	الاستارات
0	総事業費(コスト概算)	=1)-	+2													(-	千円)	3,224	3,131	2,735	2,176
	対前年比																%		97.1	87.3	79.6
	A) その他の財源 (国庫支出:	その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)																0	0	0	0
	B)一般財源(税金)																	3,224	3,131	2,735	2,176
	①事業費		(千円)															300	150	0	59
	対前年比																%		50	0	#DIV/0!
	②人件費の概算															(-	千円)	2,924	2,981	2,735	2,117
	対前年比																%		102	91.7	77.4
		誀	課長補佐			係 長			一般職員			Eベ人	数		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費			
		H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27					
	町職員(正規職員)	0.02	0.02	0.02	0.06	0.06	0.06	0.25	0.25	0.00	0.04	0.00	0.25	0.37	0.33	0.33		2,924	2,981	2,735	2,117
	臨時職員 人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00													0	0	0	0				

指

(6) 項目別評価〔Check〕 視点 項目別評価 判定 評価結果 1. 事業に対する町民 A 増加傾向にある 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください B 変化していない В |のニーズに変化はあり ますか C 減少傾向にある D かなり減少している 2. 国・県・民間との役 A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 割分担から、町が事業 Α を実施する必要があり C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 必要性がない ますか A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合、その具体的な内容をお書きください 3. 対象(受益者)の設 Α 定は妥当ですか B 対象の変更の余地がある A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合、その具体的な内容をお書きください 4.目的(意図)の設定 Α は妥当ですか B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある ── C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください A 期待したとおりの成果があった |5. 期待された成果は B 概ね期待したとおりの成果があった 得られましたか В (成果指標の目標値へ C 期待したほどの成果が得られなかった の達成度) D 成果が少なく今後も向上する見込みがない A すでに実施している A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください |6. 連携可能な事務事 業はありますか В B 今後は可能性がある (町以外の取り組みも 施策評価の導入と予算編成への活用 含めて) C 今後も可能性はない 効 率 A 余地なし C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください 7. 成果を下げずにコス B 当面は余地なし В |ト(事業費・人件費)を 削減できますか C 一部余地あり D かなり余地あり C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし 8. 受益者負担は適切 В ですか C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり ★ A·Bの場合、その具体的な内容をお書きください。 A すでに実施している B 可能 そ 9. 民間企業・住民団 体との協働の可能性は ありますか C 困難 D 検討中 (7)改革改善〔Action〕 今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) 口を一つチェックしてください。 ウ. 終期設定 □ ア. 現状のまま継続する \checkmark イ. 見直しのうえで継続する 工. 廃止 口 才. 休止 〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください) (ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください) a 重点化する(コストを集中的に投入する等) 時期(年度) b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える) c 効率化を図る(コストを下げる) d 縮小する(簡素化する) e その他(別事務事業に統合する等) 事業の方向性の具体化 改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。) 27年度予算見積書への反映 あり 🗆 ✓ 〔反映内容〕 事務事業評価の取り組みについては職員に定着したと考えるので、第5次総合計画後期基本計画の |策定に併せ、評価シートの様式の改善を検討する。 |行政評価研修負担金・旅費 (8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について) (評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。) 上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック